

椋山女学園大学 国際コミュニケーション学部棟



外観

「椋山女学園大学」は、1949(昭和24)年に開学し、2019(平成31)年には70周年を迎えた女子総合大学。今回トイレ改修を実施した国際コミュニケーション学部棟は、名古屋市千種区の星が丘キャンパスにある。



4F女性トイレ 全身鏡

退室時に身だしなみが確認できるよう、出入口に全身鏡を設置している。



5F個室完結型ブース

大便器は連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式、洗浄リモコンはボタンを押すたびに発電し、電源工事や乾電池交換が不要なエコリモコンを採用している。



3F女性トイレ
スタイリングコーナー

洗面コーナー横の小さなスペースを活用して設置されたスタイリングコーナー。照明がアクセントとなっている。



5Fスタイリングコーナー

改修前の学生アンケートにて、設置を望む声が多く挙がっていたスタイリングコーナーを新設。コンセントも完備され、多様なニーズに対応できる。防犯対策として呼出ボタンも設置されている。



5F個室完結型ブース

個室完結型のブース内には、手洗器と鏡を設置。排泄から手洗い・見繕いを、個室の中で完結することができる。



3F女性トイレ
大便器ブース

3、4Fの女性トイレには、荷物置きや着替えに対応できるフィッティングボードを備えた広めのブースを各1ヶ所設置している。



5F個室完結型ブース

5Fには、性の多様性に配慮することも加味した個室完結型ブースを設置。間仕切り壁を天井まで立ち上げて防犯性の向上を図るとともに、プライバシーに配慮した個室感の高いブースとなっている。



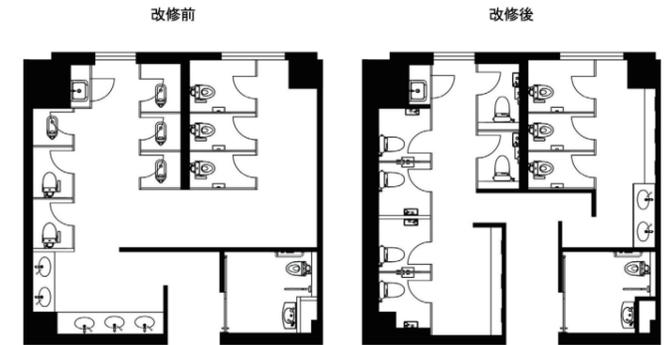
トイレサイン

男女のトイレサインは、椋山女学園各々の校章の基本となっている学園章をモチーフにしたデザイン。だれでもトイレのサインには、性的マイノリティを表すサインも掲示している。



5Fトイレ図面

5Fは既存設備を活かしながらトイレを2つの空間に分割。片側を性の多様性に配慮することも加味した個室完結型ブースのエリアとしている。



水まわりの特長

改修の経緯

「椋山女学園」は、1905(明治38)年に名古屋裁縫女学校として開設。110年を超える歴史と伝統を誇り、中部地方唯一の保育園から大学院まである女子校である。椋山女学園大学は、1949(昭和24)年に開学。現在は、7学部を擁する女子総合大学に発展。2019(平成31)年に70周年を迎えた。今回国際コミュニケーション学部棟のトイレ改修を実施。改修計画には生活環境デザイン学科の学生が参画し、事前に学部生を対象に独自のアンケート調査をおこなった。①和式便器の洋式化やスタイリングコーナーの設置、手荷物配慮といった快適性・機能性の向上 ②清潔感あふれるインテリア ③性的マイノリティへの配慮をコンセプトに改修計画を推進。だれもが快適に利用できるトイレ空間の実現を目指した。

トイレの特長

今回の改修で、国際コミュニケーション学部棟の大便器の洋式化が完了。改修前の学生アンケートでも設置を望む声が多く挙がったスタイリングコーナーは、3-5Fにすべてに完備された。3、4F女性トイレでは、各フロアに1ヶ所ずつ荷物置きや着替えに対応できるフィッティングボードを備えた、広めのブースを設置。また、5F女性トイレは、既存設備を活かしながらトイレを2つの空間に分割。片側は、性的マイノリティへの配慮を具現化して、ブース内に手洗器や鏡を設置した個室完結型ブースのエリアとした。個室感の高いブースは、間仕切り壁を天井まで立ち上げて防犯性の向上を図るとともに、プライバシーに配慮。女性トイレの雰囲気が悪手と感じる利用者でも安心して利用できるよう選択肢を提供している。

建築概要

名称	椋山女学園大学 国際コミュニケーション学部棟
所在地	愛知県名古屋市千種区星が丘元町17-3
施主	学校法人 椋山女学園
設計	清水建設株式会社
施工	建築 清水建設株式会社 設備 第一設備工業株式会社

竣工年月	(改修)2022年3月
敷地面積	30,850.00㎡
建築面積	10,462.65㎡
延床面積	49,182.11㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地下1階、地上6階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BM
ウォシュレットP:TCF589A / 紙巻器:YH701
手洗器:LSE50BS / フィッティングボード:YKA41R